

(図中の口上文) 改名口上

幸四郎

御町中様益御機嫌能被遊御座

恐悦至極に奉存升ス随ひまして此度岩井

糸三郎改名の御披露乍恐是にて一寸奉申上

升

杜若

訳て申上するは未熟不調法なる悴偏に

大江戸御鬘履御取立を以て者の数とも

思召被下誠にをって心魂にてつし

難有仕合に奉存上升ス

幸四郎

随ひ升て申上するは杜若事も永々

御鬘履を蒙かぶむりましたる半四郎名前之儀

嗚呼がま敷も糸三郎え譲ゆつり申たき願ひ

杜若より奉申上升ス

杜若

錦升申上升る通り私事も

近年多病に相成御機嫌を

背きましては弥病の種とも相成

ますれば多年御鬘履を蒙り

ましたる名前幸ひ此たび

何れも様の御差図にまかせ

未熟不調法なる糸三郎え

譲ると申すも近頃恐入ましたる

儀にはムりますれど何卒此すへ

私と思召幾久敷鬘履の程

鶉の羽の毛衣の一ト糸に

く奉希上升ス

幸四郎

先は右糸三郎儀

半四郎に改名仕まする

口上角^すみからすみまで

さよふに思召くたさり
升ふ